

# 商工会 とやま

## Vol.500

### Contents

- 3 500号記念企画! 広報機関紙のあゆみ
- 4 経済団体新春互礼会 他
- 5 シリーズひかる技術・かがやき企業
- 6 シリーズおしえてプロの視点 他
- 7 イベント情報、きときとトピックス
- 8 シリーズまちの底ジカラ!、ふるさと新名物

発行日 ● 平成29年2月1日 (毎月1回1日発行)

定 価 ● 一部50円

(商工会員にあっては購読料は会費に含まれています)

発 行 ● 富山県商工会連合会 (責任者/石澤義文)

〒930-0855 富山市赤江町1-7

TEL076-441-2716 FAX076-433-8031

URL <http://www.shokoren-toyama.or.jp>



### シリーズふるさと探訪 ニューツーリズム

## なないるKAN 硝子工房 (朝日町)

「自然豊かな朝日町は、青空や星空、海や山など、本物の色や空気感からインスピレーションを得て創作活動の源になっている」とガラス作家 鈴木俊也氏は語る。ガラス作家 鈴木明日美さんは、「ガラスは柔らかく生き物のようでありながら短時間でかたくなり、キラキラと輝く作品になるのが魅力」と笑顔で語ってくれた。二人三脚で工房を切り盛りし、千支や四季折々のガラスのオブジェが人気で、作成中のお雛様に始まり、桜の箸置き、兜、風鈴など一年を通して楽しめ、製作体験や講習会の生徒さんで工房には楽しい声が響く。

住所 富山県下新川郡朝日町横水300番地 TEL.0765-83-3700

見どころ 音や熱を体感しながら、まじかでガラス作家の制作風景を見ることができる。土・日・祝日開催の吹きガラス体験が人気 (要予約)



# 広報機関紙のあゆみ

で500号となった。当会設立後、不定期で発行した広報誌を通算すると600号となる。

昭和38年1月1日

ルーツとなる不定期刊行

「富山県商工連會報」の創刊



題字揮毫は当時の富山県知事吉田実氏



商工会法が施行された翌年の昭和三十六年八月に富山県商工会連合会が設立され、翌年度となる昭和三十八年一月一日に広報紙「富山県商工連會報」創刊号(B5版 全8ページ)を発刊した。以後、不定期刊として、平均すると年間八回程度、昭和五十年三月一日号まで一〇〇号刊行した。いわば月刊広報誌のルーツといえる。

### ○主な掲載記事

創刊号が新年号であることから、一面に立山連峰の写真を掲載。年頭挨拶と、前年十二月に砂防会館で開催された商工会全国大会の様子、年末年始謝恩セールの様子に掲載された。また、同年七月に公布された「中小企業基本法」の最終案が全文紹介されている。

### ○主な出来事

- ・三八豪雪
- ・富山空港開港
- ・ケネディ大統領暗殺

昭和50年6月20日

定期刊行としてスタート!

「商工会新報」の

創刊第一号発行



昭和五十年六月に商工会法が施行されて以来十五周年を迎える機会に、名称を「商工会新報」、サイズもB5版からタブロイド判に変更して、装いも新たに創刊号として発刊した。

「商工会新報」は毎月二十日発行に新年特別号を加え、年十三回発行していた。

### ○主な掲載記事

一面に当時の柚木栄吉会長による発刊に際しての挨拶が掲載されたほか、昭和五十年度の中小企業対策予算が大幅に増額され、経営指導員の増加と待遇改善が実施される見通しとなった旨を掲載。他にも融資制度の充実、税制改正、相談窓口の設置について紹介されている。業界紙「中小企業振興」からの転載記事があった他、コラム「商工春秋」は現在の「商工会とやま」にも引き継がれている。

### ○主な出来事

- ・エリザベス女王来日
- ・国立富山医科大学開学
- ・広島東洋カープ 初優勝

昭和58年9月20日

情報量、情報領域を拡大

第一〇〇号発行



中小企業施策、国内経済の動き、関連機関の情報を中心に、連載記事や写真を加えるなど情報量、情報領域を広げ、昭和五十四年新年特別号よりページ数も全六ページに進化し、第一〇〇号の発行に至った。

### ○主な掲載記事

一面には「回復に向かう日本経済」の見出しで、昭和五十八年度経済白書を詳しく紹介。三面以降には県内各地の様子を写真と共に紹介するシリーズ「フォト訪問」コーナーがあり、九月七日にオープンした富山産業展示館(テクノホール)を紹介。「経営アドバイスコーナー」では後継者の育成について、楽しいコラム記事として「父と子」のエッセイなどを掲載。

### ○主な出来事

- ・連続テレビ小説「おしん」放送
- ・東京デイズニールランド開園
- ・大韓航空機撃墜事件
- ・富山県置県百年

# 「商工会とやま」本号で 500号!

富山県商工会連合会が毎月 1 回発行している広報機関紙は、当月号「商工会とやま VOL.500」節目となる紙面を紹介しながらそのあゆみを振り返る。

平成 4 年 1 月 20 日

会員と商工会を結ぶ大切な役割を担い  
二〇〇号発行



息の長い景気拡大局面が減速傾向と共に先行き不透明感が高まり、後に、バブル崩壊・失われた二十年といわれる低成長期に入ってしまった。

○主な掲載記事

一面には人材開発の在り方を探るために開催した「小規模企業の人材開発」に関するシンポジウムの模様を紹介し、大店法の改正で商調協(商業活動調整協議会)が廃止されることに対応するための「商業まちづくり委員会」の設置を掲載。現在まで続く「翌月のイベント情報」を掲載していた他、今日の社会においても課題となっている女性の就業や少子高齢化に関連し、女性の転職率についてのコラムや高齢化社会についての連載記事がある。テレビ番組紹介欄が設けられており、主に工業や商業に関する番組タイトルが掲載されていた。

○主な出来事

- ・第一回ジャパンエキスポ富山
- ・天皇皇后両陛下 初訪中
- ・育児休業法施行

平成 12 年 5 月 20 日

商工会法施行四十周年、  
二十世紀最後の年  
節目となる三〇〇号発行



○主な掲載記事

一面は、商工会法施行四十周年を迎えるの合言葉「響け 四十年 知恵のとき」を大きくアピール。三〇〇号を迎えるにあたり、西暦二〇〇〇年という節目の年であったことから当時の土居専務理事による挨拶が掲載された。商工会法施行から四十周年を迎え、当時までの商工会活動を振り返るとともに、二十一世紀における商工会の在り方を模索し、組織、事業、財源について再構築を実行すべく全会員へのニーズ調査を実施したことに言及している。

二面に本会が「小規模企業と資金調達の多様化」をテーマに調査研究を行い、発行した商工会白書について概要を掲載。五面では時勢を反映し、当時急速に拡大していたインターネット取引における注意点について紹介していた。

○主な出来事

- ・二〇〇〇年とやま国体
- ・九州・沖縄サミット
- ・介護保険制度施行
- ・二千円札・新五百円硬貨発行

平成 20 年 10 月 2 日

名称を「商工会とやま」に変更  
リーマン・ショックの年に  
四〇〇号を発行



平成十六年七月の三四九号からはタブロイド版からA4版サイズとし、名称も「商工会とやま」に変更したものの、発刊番号は「商工会新報」より引き継いだ。平成二十年四月から発行日を毎月一日とし、掲載内容やレイアウトに変更を重ねながら現在に至っている。

○主な内容

一ページには当時の厳しい経済状況を反映して、県内商工三団体(石澤義文県商工会連合会長、犬島伸一郎県商工会議所連合会長、黒田輝夫県中小企業団体中央会長)による石井知事の訪問と中小企業への経済対策要望の様子を紹介。当時県内の各商工会で合併に向けた動きがあり、現在の富山市北および高岡地域における状況が四ページで掲載された。

○主な出来事

- ・秋葉原通り魔事件
- ・東海北陸自動車道全線開通
- ・リーマン・ショック
- ・オバマ氏がアメリカ大統領選勝利



# 経済団体新春互礼会開催 決意新たに 地方創生の実現を!

商工会連合会と商工会議所連合会、経営者協会、中小企業団体中央会、経済同友会の県内経済五団体は、一月四日に富山市内のホテルにて、各団体役員や企業のトップら約四六〇人が集い、新年を祝う新春互礼会を開催し、地域経済の発展と地方創生の実現に向け、決意を新たにしました。

石澤県商工会連合会会長の「今年を未来を切り拓く一年にしよう」との言葉で開会し、金岡県経営者協会会長が挨拶、石井知事が祝辞を述べた。続いて、高田県中小企業団体中央会会長の音頭で鏡開きし、米原富山経済同友会代表幹事の発声で乾杯し、なごやかに歓談がくりひろげられた。最後に、高木県商工会議所連合会会長が中締めした。

## 中小企業景況情報

業況判断D・Iの推移(前年同期比)

### 前期比、製造業は好転、建設業・小売業・サービス業は悪化した

今期は、製造業一八・五(前期比プラス一四・八ポイント)と好転したが、建設業△一〇・〇(同マイナス五・〇ポイント)、小売業△六〇・六(同マイナス二五・四ポイント)、サービス業△一九・七(同マイナス七・四ポイント)は悪化した。

来期は、製造業二一・七(当期比プラス三・二ポイント)、建設業〇・〇(同プラス一〇・〇ポイント)、小売業△四二・一(同プラス一八・五ポイント)と好転を、サービス業△二五・九(同マイナス六・二ポイント)は悪化を予想している。(注)D・Iとは、景気動向指数の略で、前年同期と比較して増加(好転)企業割合と、減少(悪化)企業割合の差を示すもの。

D・I値(前年同期比)表示マーク	
20.1 ~	快晴 =
5.1 ~ 20.0	晴れ =
5.0 ~ △ 5.0	曇り =
△ 5.1 ~ △ 20.0	小雨 =
△ 20.1 ~	雨 =

業況天気図 H28.10月~12月実績・H29.1月~3月予想

	平成27年 1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	平成28年 1月~3月	4月~6月	(前期) 7月~9月	(今期) 10月~12月	(予想)平成29年 1月~3月
製造業									
建設業									
小売業									
サービス業									

## 商工春秋

昨年十二月に電通が労基法違反で書類送検された。亡くなった高橋まつりさんのツイートを「生きるために働いているのか、働くために生きているのか分からなくなっているからが人生」という悩み深い言葉がある。▼政府の「働き方改革」が動きだした。長時間労働の是正、非正規雇用者の待遇見直しなどが主なテーマだ。民間企業では、業務プロセスの見直し、職務グレードの分類化、多様な勤務時間間の設定、副業解禁など様々な働き方やフェアな報酬のあり方が検討されそうだ。

▼個人消費低迷下で、競争が一段と進むなか、企業が年功序列賃金で社員の一生を保障する時代ではなくなりつつあるうえ、AIが人間に代わる領域が増えてくる。ならば、個人が時代にあっただ高い能力を身につける努力と、必要に応じて適所を探す覚悟がある。▼個人の犠牲ではなく、個人に成長機会と働きがいを提供できる企業が発展する時代だ。

# シリーズ ひかる技術 かがやき企業

# 独自の麴の魅力アピール！ 精力的に新たな販路開拓

入善町で独自製法の米麴を用いた商品の製造販売をしている丸善醤油(株)専務取締役 佐田洋氏にお話を伺った。

丸善醤油(株)は明治より米問屋佐田商店として創業し、米の販売とともに醤油・味噌の製造販売を行って来た。大正十五年に丸善醤油(株)となって以来、味噌・醤油・甘酒・麴等を取り扱っており、新川地域のスーパーを中心に、地元ブランドという安心感と商品への信用からお客様を獲得している。



丸善醤油(株) 専務取締役 佐田洋氏

## ■デザイン刷新で競争力を獲得

伝統を継承しながら安心安全な素材にこだわり、味にも自信がある商品づくりをしている中でも、多種多様な商品が並ぶスーパーの陳列棚では、自社の商品がお客様の目に留まりにくいと感じていた。

また、食生活の変化により味噌や醤油の消費量が減っているという危機感もあり、新たな販路開拓が重要であると考えていた。

このため、平成二十五年に小規模事業者持続化補助金の採択を受け、商品や容器などのデザインやロゴの刷新、新たな商品パンフレットを作成するとともに、商品の付加価値を高め、商品の魅力を伝えられる展示販売会等での販売促進活動に力を入れていくことにした。

## ■独自製法の「生きている麴」をPR

独自製法による「生きている麴」を他社との差別化のPRポイントとして、味噌や甘酒の魅力をお客様に直接アピールするため、県内外での展示販売会や商談会へ精力的に出席している。

入善町商工会が国の「経営

支援発達計画」の認定を受けたことで、これまで以上に手厚い県外への販路開拓支援も受けることができているという。

県内外での展示販売会等では、味噌や甘酒の「生きている麴」を感じてもらうため、積極的にお客様に声をかけ試食を提供している。

商品のPRのみならず、作り手の思いも伝えながら、試食の反応やお客様との会話から商品の改良点や販売方法・PR方法の改善点などを見つけていくことができているという。



甘酒「こうじこまち」

## ■新たな市場へ！ ものづくり補助金を活用

糖化・分解力が強い麴を使用しているのが最大の強みであるが、一方では、消費期限が短く、県外への販路開拓は展示販売会など限定的な販売にとどまっていた。また、都内では一人暮らしの方や電車での持ち帰りといった理由で小さなサ

イズの需要があることがお客様の声から分かったものの、自社の生産体制では対応できないという現状であった。

これらの課題を解決するため、商工会の支援を受けながら、経営革新、ものづくり補助金の採択を受け、新たに機械を導入することができた。これにより、厳密な湿度・温度管理が可能になり、小ロット生産にも対応できるようになった。

商談会にも精力的に参加し、県外での販路開拓にも手ごたえを感じている。大手百貨店や商社からも引き合いも出てきており、商品のみならず、麴のお問合せも増えてきている。

発酵食品ブームを背景に、甘酒が体に良く魅力ある商品として新規顧客の獲得につながり、リピートしてくださるお客様も増えてきている。この波に乗り今後も麴の魅力を伝えていきたいと力強く意気込みを語ってくれた。

### 下新川地域商工会広域協議会

経営指導員 岩崎裕美

販路開拓に精力的に取り組んでおられ、新たな販路拡大に向けて伴走支援していきたい。

電気を安定してお届けする。  
それが私たちの使命です。

北陸電力

3次元をプロデュース

NAKATANI PRINTING

3DPrinter ProJet60 Pro

Geomagic Touch

株式会社 なかたに印刷

〒939-2741 富山県富山市婦中町中名1554-23  
TEL (076)465-2341(代) FAX (076)465-2340  
URL http://www.nakatani-p.jp E-mail info@nakatani-p.jp

3Dシステム事業部

「商工会とやま」  
広告掲載企業  
募集中

お気軽にどうぞ

【お問い合わせ・お申し込み先】  
富山県商工会連合会 総務課  
(TEL076-441-2716)

# おしなまプロの視点

## 分かりやすく解説！ IT用語③ (中小企業診断士・堀)

このコーナーでは最近よく耳にする IT 用語について解説し、今後のビジネスチャンスにつながるヒントを提供します。

### BYOD(ビーワイオーデー)

Bring Your Own Device の略で、従業員の私用のスマートフォンやパソコンなどの端末を会社が許可して業務に活用するという考え方です。

これまで業務用の端末は企業側が手配したものを従業員に支給し利用するのが一般的でした。しかしスマートフォン普及で携帯端末を日常的に利用することが当たり前となった頃から BYOD の考えが提唱され始めました。これだけを聞くと「セキュリティが心配では？」と感じる方もいらっしゃると思います。その疑問はもつともであり、実際二〇一二年のある調査によると BYOD を認める企業はアメリカで約六〇%だったのに対して日本は二〇%足らずでした。そんな保守的な日本でもそのメリットから BYOD は

今後普及していくと予想されています。自分の使い慣れたスマートフォンであれば効率良く一台で全てをこなすことができます。会社にとつては端末導入費用を抑えられる効果もあります。

一方、従業員が無断で私用端末を使って業務を行い、会社側もそうした実態を黙認するということが見受けられます。これは「シャドー IT」と呼ばれ、情報漏えいの危険を伴う行為です。こうした問題を解決し、本来の BYOD を実現するにはセキュリティ対策は欠かせません。端末に対してウイルス対策ソフトや、紛失時などに遠隔操作が可能な管理ソフトの導入などは必須と言えます。こうした専門的な対策をパッケージとして提供しているサービスもあります。ただ何よりも大事なのは、社長がリーダーシップを発揮して運用ルールを決めること、それを従業員へ周知し意識を高めることです。

# 中小企業大学校瀬戸校連携セミナー

## 企業の「人づくり」セミナー開催！

富山県商工会連合会では、県の委託を受けて昭和五十八年より、県下中小企業の将来を担う人材を育成するための「富山県中小企業大学校」事業を実施しています。開校以来、三十年余りが経過しましたが、今回、初めて富山県、中小企業大学校瀬戸校等と連携し、標記セミナーを開催することとなりました。

研修内容は、以下の通りです。多数のご参加お待ちしております。

### 日時

平成二十九年三月二十三日(木) 午後二時～五時

### 会場

富山県中小企業研修センター (富山市赤江町一七)

### 対象

中小企業の経営者、管理者 後継者 等

### 定員

四十名

### 内容

・共感を呼ぶリーダーシップ  
・モチベーションを高める  
チーム活性化術

### 申込み締切

三月十七日(金)

※富山県中小企業大学校ホームページより申込書をダウンロードし、メール又は FAX にてお申し込みください。

※詳しくは、

富山県中小企業大学校 [検索](#)

※入場無料

■お問合せ先

富山県商工会連合会 担当：見角  
TEL 〇七六 一四四 一 二七 一六

## ねらい

リーダーシップの発揮の仕方、コミュニケーションの図り方、チームを活性化させる仕組みづくりなどについて、ロールプレイングを交え学びます。

## テーマ

### 「管理者の職務と役割」

リーダーとしての基本行動とは！！

地震災害時に事業再開を応援する **新登場**

## 休業対応応援共済

全損応援共済金 **3,000万円** 限度

一部損応援共済金 **1,500万円** 限度

建物の構造、新耐震設計基準の有無業種や事業規模により、全損応援共済金は 1000 万円限度、一部損応援共済金は 500 万円限度となります。

● お申し込み・お問い合わせは地元の商工会へ ●

企業の繁栄に **特別増強運動展開中!**

## 商工貯蓄共済制度

ひとつの掛金で3つの備え

貯蓄

+

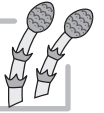
融資

+

生命保障

● お申し込み・お問い合わせは地元の商工会へ ●

# 各地のイベント3月



イベント名	開催日	お問合せ先	
世界遺産・五箇山菅沼合掌造り集落ライトアップ	3月の毎週金曜・土曜の夜	五箇山観光総合案内所	0763-66-2468
五箇山相倉合掌造り集落ライトアップ	3月2日(木)～5日(日)	五箇山観光総合案内所	0763-66-2468
富坂 聡 時局講演会	3月8日(水)	八尾町工場協会	076-455-3181
風の盆ステージ・町なかミニツアー	3月11日(土)・25日(土)	越中八尾観光協会	076-454-5138
ふれあい青空市「やまだの案山子」	3月11日(土)から開催 (月・火・水・土・日)	ふれあい青空市「やまだの案山子」運営委員会	076-457-2333
第 27 回南砺いのくち椿まつり	3月19日(日)・20日(月)	南砺市井口行政センター	0763-64-2211

## 元気とやま ひととひと トピックス

### トライアル発注商品・役務を募集!!

県では、中小企業等の開発した新商品・役務をトライアル発注商品として認定し、認定された商品・役務の調達に努めるほか、県が購入した商品・役務については、使用後の意見をフィードバックするなど、中小企業者のさらなる新商品開発や改善、販路拡大を応援しています。

■募集(申請受付)期間  
2/1(水)～2/28(火)まで



富山県 トライアル 検索

■お問合せ先■

富山県 経営支援課  
TEL 076-444-3247

### 第5回 富山県ものづくり大賞表彰式 参加者募集

高度な技術開発により、本県の「ものづくり産業」の活性化に寄与した企業を顕彰する「富山県ものづくり大賞」の表彰式を開催します。受賞企業による報告会も行いますので、参加をご希望の方は、下記までご連絡ください。

- (1) 日時 2月13日(月) 15:00～16:40  
※受賞企業による報告会(15:00～15:55)
- (2) 場所 ANA クラウンプラザホテル富山 3F

◆受賞企業◆

- 【大賞】  
(株)日立国際電気 富山事業所  
「ナノ技術対応最先端サーマルプロセス装置の開発」
- 【優秀賞】  
アイシン軽金属(株)  
「自動車用衝突安全システムの開発」
- (株)能作  
「シリコン鋳型による錫100%の商品開発」
- 【特別賞】  
(株)トヨックス  
「ハイブリッドトロンホース(耐圧樹脂ホース)」
- (株)フロンティア  
「電動式点字打刻機の開発」

■お問合せ先■

富山県 商工企画課  
TEL 076-444-3245

### 富山県奨学金返還助成制度 登録企業の募集

県では、理工系の大学院生・薬学部生のU・Jターン就職を促進するため、富山県と登録企業との出捐により基金を創設し、応募学生が登録企業に一定期間就業した場合、県と登録企業とで奨学金の返還を助成します。

**登録企業の応募要件:**(1) 応募学生を正規社員として採用予定の企業、(2) 富山県内に主たる事業所を有する中小企業(中小企業基本法第2条第1項に規定する会社および個人)又は富山県内に主たる事業所を有する直近年度の売上高が500億円以下の中堅企業

登録企業のメリットは、①応募学生のリストを提供、②応募学生との合同交流会を開催、③県ホームページなどで登録企業を広報、④応募学生と採用内定に至らなかった場合、出捐は不要  
※詳しくは、県のホームページをご覧のうえ、お気軽にご登録ください。

[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1303/kj00017208.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1303/kj00017208.html)

■お問合せ先■

富山県 労働雇用課  
TEL 076-444-8897

北陸銀行がみなさまの創業を応援します。

お気軽にご相談ください  
金融サービス部 創業支援チーム TEL.076-423-7710

www.hokugin.co.jp 北陸銀行

中小企業を支える身近なパートナー

中小企業・小規模事業者のみなさまを信用保証でサポートします！  
ニーズに応じた多様な保証制度を、ご用意しております。  
お気軽にご相談ください。

©光プロダクション

富山県信用保証協会

www.cgc-toyama.or.jp 富山県信用保証協会 検索

# 商工会青年部女性部

まちな

シリーズ

# 底デカラ!

in 庄川町商工会

## リアル体験型探偵ゲームで地域活性化

庄川町商工会青年部は、昨年の十二月四日(日)に「こいびく探偵団の事件簿・狙われたこいびく像を守れ」と題して、リアル体験型探偵ゲームを実施した。

このリアル体験型探偵ゲームは、庄川水記念公園にて実施された参加体験型のイベント。参加者は探偵団になりきり、参加キット(謎の手がかり)を入手し、公園内の施設であるウッドプラザや鯉恋の宮等を回遊、描かれた謎を解き明かし、隠された手がかりを見つげながら、最終的には犯人をあばき、庄川町の鯉のキャラクター「こいびく」の像を守ることができた。事件(ミッション)解決となる。

当日は、子供達を中心に、子供から大人まで総勢八十二名十九チームが参加。事件を解決できた参加者には、抽選で庄川町の豪華特産品等が当たる。ゲーム中に触れる、観光地の名所や隠れスポット等の魅力を発見し、楽しみながら参加することで集客と回遊性、コミュニケーション促進に繋

げることができた。参加者からも、「楽しかった」「面白かった」という声が多く、好評を得ることができた。青年部はこの事業を通じて、地域の歴史・文化・観光資源等を青年部員が再認識し、地域の子供達には、地域資源を学ぶ・知る機会として、庄川町に愛着や誇りを持ってもらいたい。地域活性化や観光PR、宿泊利用促進など様々なイベントプロモーションとして利用し、温泉旅館への誘客効果や企業PRに繋げていきたいとしている。

取材協力

### 庄川町商工会青年部



打合せをする庄川町商工会青年部のメンバー

協本青年部長は「青年部員自身が地域の歴史・文化・観光資源を再認識する機会となった。今後は、この事業を通じて学んだノウハウを従来からのイベント等の集客にも活かし、持続可能な地域活性化事業として育てていきたい」と目を輝かせる。



リアル体験型探偵ゲームを楽しむ参加者

# いいもの見つけ隊!

シリーズ

# ふるさと新名物



in 南砺市商工会

## 彫刻刀・木彫り道具で町の伝統文化を承継

南砺市井波は、世界遺産の合掌集落の有る白川郷・五箇山山麓の山すそに広がる町で、木彫りの従事者が最盛期には三百人とも言われた木彫りの町である。

そんな木彫りの町井波にある匠雲堂は、創業以来四十年、彫刻刀・木彫りの道具の専門店として製造、販売、メンテナンス等を行っている。彫刻刀の専門店は全国でも数軒しかなく、全国から注文が入る。現在では、全国の彫刻師だけではなく、木彫りのカルチャー教室や県内外を問わず美大や芸大・工芸学校など幅広い顧客を持っている。もともと井波彫刻師のためにオープンした店だが、いまでは井波彫刻では使わない刃も置いており、その道具の数は多種多様で、店内はさながら木彫道具博物館となっている。お客様からも、めずらしい道具や品種の数に驚き、興味がひかれ評判が高い。

また、店内では手砥ぎや柄付作業体験もでき、店主の岡田さんから、持ち方や姿勢、自分で開発した刃や砥

取材協力

しょうらんど

### 木彫りの町 井波 匠雲堂

店主 岡田 榮吉



住所：南砺市本町1-28 (旧井波町)  
TEL: 0763-82-4554  
FAX: 0763-82-5616

店主の岡田さんは「日常生活ではあまり感じる事ができない、木の色やはだ、香りをまず感じてもらい、作品をつくる過程などを通して感動を味わっていただければ嬉しい。お客様に応じたやり方や砥ぎ方を教え提供することで、普及に繋げていきたい」と意気込みを語ってくれた。



多種多様な木彫道具が並ぶ店内